

大変喜ばしいことです。子供たちは誰しも幼児期に様々な武器や武術に憧れます。そういう時期に適当なおもちゃを与えて終わらせてしまうのではなく、歴史も作法もきちんとしたこの国の武器文化を、興味を持った時期に伝えてやりたいと思うのです。

私たち夫婦が銃を扱う為、娘は幼児期から射撃に親しむことが出来ましたが、現在武器というものを、小さな子に教える環境は残念ながら皆無です。いつの日か何らかの形で子供たちに伝えられるようになるのが私の夢です。

青龍殿での奉納演武

至誠館 小学校五年 渡邊 眞子

十一月十一日、青龍殿で奉納演武をしました。至誠館のほかにも、青少年が参加していて大きな声で演武をしていたので、私たちも「負けないぐらい大きな声を出そう」と皆で言っていたけれど、本番では、私は声が小さくなってしまいました。皆が大きな声を出してくれるから、私の声が小さくなっても大丈夫だと思っていたのに、皆も声が小さかったので不安になりました。私が一番記憶に残ったのは、外国人の演武です。とても声が大きく迫力がありました。

同じ技を順番で演武していたことに気づきました。女の人と男の人の声で違う技のように見えました。

最後の閉会式では、参加賞をもらえて嬉しかったです。次は、声を出して皆にすごいと思ってもらえるような演武をしたいです。

青龍殿古武道演武大会

至誠館 中学校一年 稲見 光馬

僕は今回はじめて青龍殿国宝青不動明王奉納古武道演武大会に参加しました。大会では会場の雰囲気にとっても緊張しました。いつもは小学校の体育館で練習していて、大勢の前で演武することが少ないので、なおさら緊張しました。でもその緊張のおかげで、いつもより集中して演武出来ました。

今回の大会はフランスからの参加もあり、フランス大会に参加出来なかった僕にとって、フランスの方の演武を見られたことはとても良い刺激になりました。またフランスの方だけではなく、他の人の演武を見ることはとても勉強になりました。今回学んだことを身に付け、来年も大会に参加し、今度は賞を狙いたいです。



初めての中心

至誠館 小学校四年 中村 周平

十月二十一日に、小学校区の文化祭がありました。この文化祭で、ぼくは初めて中心になって演武しました。でも、この中心は、自分の力でとった中心ではありません。なぜなら、じゃんけんで決めたからです。できるだけ落ち着いて、おなかから声を出しました。せい一ぱい演武しました。でも、先生に注意されていたのに、うまくできなかつたことがあります。だから、あまり満足できていません。

次は中心に指名してもらえらるよううにけい古しています。そして、満足できる演武ができるようになりたいたいと思います。



第三回青龍殿国宝青不動明王奉納古武道演武大会

正守和道塾 小学校六年 中村 琉樹

今回、国宝青不動明王奉納古武道演武大会に参加させていただきありがとうございます。青龍殿での奉納演武にとっても緊張しました。そして、演武をされている他の団体の方々にとっても素晴らしいにさらに緊張が高まってしまう時、僕達が演武をしている時、僕は動きが普段よりかたくなってしまう時、最後までやりきれてよかったです。

今回の奉納古武道演武大会で僕の中で素心流居合抜刀術宮園先生の抜刀術がとても印象に残りました。

とても長く分厚い藁を僕の目では簡単に切っているような感じに見えました。

けれどもとても辛く厳しい鍛練の末に習得された技があり出来てるのだとすごくかつこよく感動しました。

また次の奉納古武道演武大会に参加させていただける時には自分自身や見ていただいている方々に満足してもらえる様に日々の鍛練を積んでいきたいと思います。



第三回青龍殿奉納 古武道演武大会を終えて

正守和道塾 小学校五年 山口 謙信

奉納演武大会の前日までとはとても緊張していましたが、当日は緊張と共に感謝や国宝青不動明王の前で奉納演武が出来る事の責任感を感じるようになりました。

他の古武道の方々の演武を見てオーラがあり存在感がすごいなと思いい、僕もすごいなと思ってもらえるように頑張りたいです。

間違わないかそればかり心配していましたが、間違わない事と同じように、心を込めて演武をする事に気をつけて練習し上達したいと思いました。

そして、日々の鍛練が大事だと思いました。

初めての参加でしたがこのような素晴らしい機会を与えてもらった事に感謝したいと思います。



演武会を終えて

正守和道塾 齋藤 恵太

僕は、神様の前でやる演武会なのに、間ちがえてしまったりこけてしまったりくやしかったです。「もっと練習すれば良かった」と思いました。ですが、開会式の時、すごく足がしびれてむずむずしたけれどたえられて「僕はまた一歩強くなった」と思っ自分にごく勇気が出ました。

えんぶに出ました

正守和道塾 田中 奏楽

わたしは、青りゆうでんで空手のえんぶに出ました。えんぶでは、八方わざとやくそく組手をしました。

八方わざはふだんの練習でもしていましたが、やくそく組手はえんぶのためにかんばって練習しました。

はじめは、やくそく組手をおぼえることからだったので、手首にかんせつわざをきめるときの手使い方もむずかしかったけど、練習を重ねる内に少しずつ出きるようになりました。

本番は大ぜいのかん係者以外にも、青不動明王を見に来られていた一ばんの方も見てくれたので、少しきんちようしましたが、一生けん命練習してきたせいかを発ぎ出きたと思います。

青りゆうでんで空手のえんぶが出たことは、わたしにとつてとてもよいけいけんになり、思い出になりました。ありがとうございました。

えんぶかい

正守和道塾 齋藤 悠太

えんぶかいのかいかいしぎがはじまった時、とてもきんちょうしました。ほかの人たちのえんぶはすごかったです。ちよつとまちがえたのがいやでした。おみやげにおまもりとしようじょうをもらって、とてもうれしかったです。いえにかえってすぐおまもりをランドセルにつけました。これからもう一つとえんぶかいに出たいです。



山のうえのえんぶたいかい

正守和道塾 にし山 おうた

さいしょの火をつけたあとなにごおこるかきになりました。そしてきんちょうしました。

えんぶかいにさんかして

水心流 楠誠会館 家田 真希

渡部先生より青龍殿の演武に出られると聞いて嬉しかった。初めてなので、最初はどうか迷いましたが、子供がでられる演武があまりないと聞いたので、出ることにしました。演武は、とても緊張しました。

だけど、いつもの練習より全ての技をうまくできたので良かったです。もっと色々なところで、演武ができるように練習を頑張つてそして、でつかい会場にも出たいと思います。これからも、練習を休まず頑張りたいです。

